

2014年度活動内容

1. 研究活動として、(財)おかやま環境ネットワークの助成金を受け、「カキ殻による物質循環の促進」のための技術開発に関連して、岡山県備前市日生地先に設置されたカキ殻海中一時堆積場の環境調査を実施した。
2. 普及啓発活動として、岡山市からの依頼により、岡山ESDイベントとして2014年10月28日（火）に、岡山市においてシンポジウム「里山+里地+里海資本」を企画、開催した。
また、認定NPO法人共存の森ネットワーク、生活協同組合おかやまコープ及び(公財)おかやま環境ネットワークとの共同開催により平成26年8月20日に備前市日生町、平成27年3月23日に岡山市において海洋教育セミナー「里海づくり推進に向けて～振り返りと将来展望～」Part I 及びPart II を開催した。
3. 2014年4月から2015年3月にかけて、福岡県柳川市、佐賀県太良町、岡山県岡山市・倉敷市・笠岡市・備前市、兵庫県神戸市、大分県別府市、大阪府岸和田市、香川県高松市、福岡県福岡市、東京都などにおいて、21回に亘る「里海」に関する講演活動を行い普及啓発に努めた。
4. 2015年2月9日に東京海洋大学において開催した第29回沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム「沿岸環境修復技術としての貝殻利用の最前線～物質循環の促進向上に向けて～」の内容を、月刊「海洋」2015年2月号、3月号にとりまとめ発刊した。
5. 国際協力機構JICAからは海外研修員の研修指導の依頼を受け、平成26年7月から12月にかけて、SEAFDEC研究員1名、モロッコ漁業省行政官及び研究員4名、チュニジア漁業省水産業改良普及員5名の研修生らに水産環境整備及びモニタリング調査技術、水産業界漁普及等に関する技術指導に携わった。
6. NHKシリーズ番組「海と生きる」、NHKスペシャル「里海」取材チームが執筆中で2015年秋に角川新書より発刊予定の「里海資本論」の監修に協力した。今後、これらの活動を通じて、「里海」の広報に資することができるものと考えられる。